琉球大学学術リポジトリ

感染症疑い患者の院内死亡率予測における病院前qSOFAの有用性：後ろ向きコホート研究

メタデータ	言語: English 出版者: 琉球大学 公開日: 2021-05-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Koyama, Satoshi, 小山, 智士 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/48495

令和　2年　11月　24日

（別紙様式第７号）

論　文　審　査　結　果　の　要　旨

報告番号	課程博 ＊　第　号 論文博	氏名	小山　智士
論文審査委員	審査日	令和　2年　11月　20日	
	主査教授	中村　幸志	印
	副査教授	藤田　次郎	印
	副査教授	前田　士郎	印

（論文題目）

Use of prehospital qSOFA in predicting in-hospital mortality in patients with suspected infection: A retrospective cohort study

（感染症疑い患者の院内死亡率予測における病院前qSOFAの有用性:後ろ向きコホート研究）

（論文審査結果の要旨）

【研究背景とその目的】

敗血症は感染症に対する制御不能な生体反応に起因する生命を脅かすような臓器障害である。quick sequential organ failure assessment（qSOFA）スコアはICU外での感染症患者の血圧・呼吸数・意識レベルに基づいて敗血症疑いの早期認知と予後予測に有用なツールであり、主に救急外来と病棟にて使用されている。しかし、より早い段階である救急隊員の患者接触時（病院前）においてqSOFAスコアを適用することの妥当性に関する研究は乏しい。本研究は、沖縄県内の単一施設後ろ向きコホート研究として、2016年4月～2017年3月に病院救急外来に救急車で搬送され、感染症疑いで入院したすべての成人患者を対象とし、救急隊員の患者接触時バイタルサインに基づく病院前qSOFAスコアを算出し、これ（陽性、陰性）と院内死亡率との関連を検討した。

【結果】

感染症疑いの成人入院患者925人のうち、病院前qSOFA陽性は51.1%（473/925）であった。院内死亡率は、病院前qSOFA陽性患者では14.0%（66/473）、病院前qSOFA陰性患者では6.0%（27/452）であった。Cox比例ハザードモデルを用いて、年齢、性別、基礎疾患、居住地を調整した病院前qSOFAスコア陽性（vs陰性）の院内死亡に対するハザード比は2.41（95%信頼区間1.51–3.98）であった。

【研究の意義と学術的水準】

本研究は、qSOFAスコアは病院前においても院内死亡リスク上昇に基づいて敗血症疑いを判別しうるものであり、広くICU外の診療状況において有用である可能性を初めて示唆するものである。最新の敗血症の定義（Sepsis3）における追加治療戦略として"hour-1 bundle"、すなわち救急でのトリアージから敗血症の診断、治療開始（輸液、抗菌薬投与）を1時間以内に完結させることが推奨されている。本研究の知見は、できるだけ早い敗血症の認知と介入の必要性を支持し、特に救急隊員の医療行為が容認されている海外においては、救急隊員による運用の可能性という大きな臨床的意義を有する。今後、病院前において感染症か否かを適切に評価することなどを盛り込む研究への展開が求められつつも、本研究には一定の価値がある。

以上の結果から、本研究論文は学位授与に十分値するものと判断した。

備　考　1　用紙の規格は、Ａ４とし縦にして左横書きとすること。

2　要旨は800字～1200字以内にまとめること。

3　＊印は記入しないこと。

令和　2年　11月　24日

（別紙様式第８号）

最終試験結果の要旨

報告番号	＊課程博第　　号	氏名	小山　智士
論文審査委員	審査日　令和　2年　11月　20日		
	主査教授　中村　幸志　印		
	副査教授　藤田次郎　印		
	副査教授　前田士郎　印		

（最終試験結果の要旨）

口頭による公開検討によって最終試験を行い、以下の件について確認した。

1．　提出論文の内容、意義についてよく把握していること。
2．　研究の目的と方法について理解、熟知していること。
3．　研究の結果について正しく解析していること。
4．　関連研究の文献をよく理解していること。
5．　研究成果の展望について確かな見解を有していること。

審査の結果、これらに関する質問に対して十分満足なる回答が得られたため、本大学院博士課程を修了するに値すると判断し、最終試験を合格とした。

備　考　1　用紙の規格は、Ａ４とし縦にして左横書とすること。
　　2　＊印は記入しないこと。